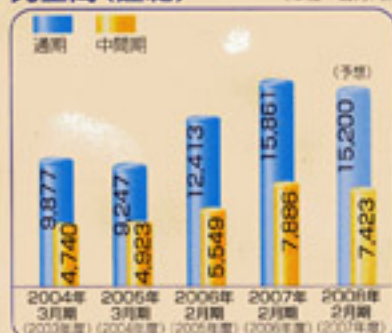




Financial Highlights 財務ハイライト

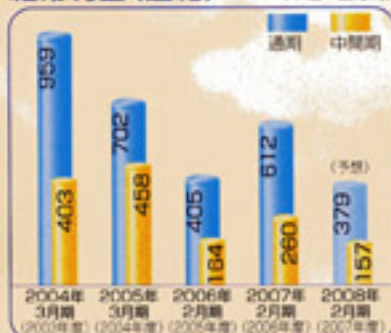
売上高(連結)

(単位: 百万円)



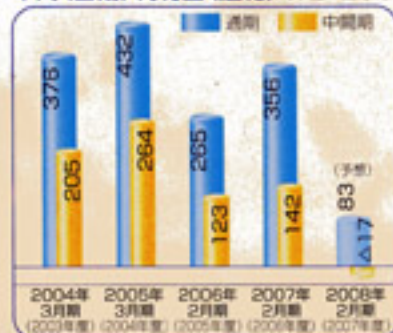
経常利益(連結)

(単位: 百万円)



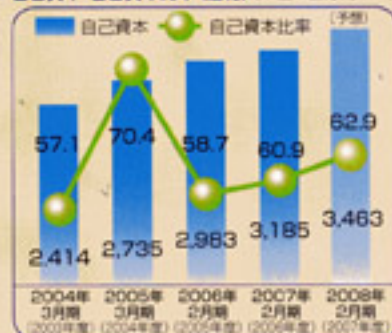
中間(当期)純利益(連結)

(単位: 百万円)



自己資本・自己資本比率(連結)

(単位: 百万円, %)



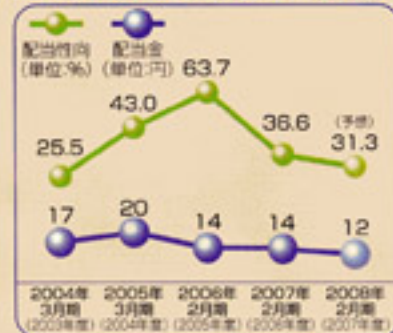
従業員数・平均年齢(連結)

(単位: 人, 単位: 才)



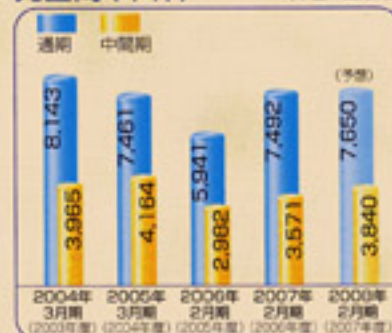
配当性向・1株当たり配当金(単体)

(単位: %, 単位: 円)



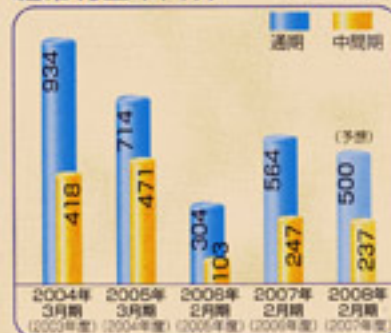
売上高(単体)

(単位: 百万円)



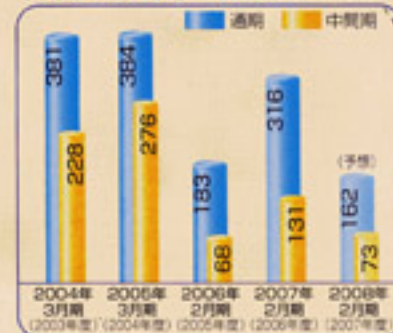
経常利益(単体)

(単位: 百万円)



中間(当期)純利益(単体)

(単位: 百万円)



(注) 1. 1株当たり配当金のうち、2004年3月期には業績好調による5円の増配、2005年3月期には東証・大証一部上場の記念5円および創立15周年の記念3円、2006年2月期および2007年2月期には好業績による2円の増配をそれぞれ含んでおります。
2. 当社は2006年2月期に事業年度末日を毎年3月31日から毎年2月末日へ変更いたしました。これに伴い、上記の2006年2月期の通期の業績は11ヶ月間(2005年4月1日～2006年2月28日)の数値を記載しております。





株主のみなさまへ

株主、投資家、取引先、社員のみなさまには、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は、ひとかたならぬご高配を賜り厚くお礼申し上げます。ここに第19期中間（2007年3月1日から2007年8月31日まで）報告書をお届けするにあたり、一言ご挨拶申し上げます。

、好調な企業収益に伴う設備投資の増加などにより、景気は緩やかな回復基調でありましたが、一方で原油価格の高騰や国際情勢の変化等、景気の先行きには不透明感が続いております。アミューズメント業界におきましては、施設の大型化や、M&A・業務提携など、業界再編の動きはまだ続いております。

エスケイジャパングループは1989年の設立以来、「子供から大人まで、夢を与えるキャラクター商品を人々の生活の中に提供する」をモットーに、癒し・安らぎ・潤いのある商品の企画開発・販売に取り組んでまいりました。価値ある商品の提供によって、業容の拡大と発展に努め、利益ある成長を基本として継続的に企業価値を高めることで、株主、投資家、取引先、社員のみなさまに報いていくことを、経営の理念としております。

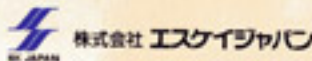
今後とも一層のお引き立て、ご愛顧を賜りますよう心からお願い申し上げます。



代表取締役社長
久保 敏志

2007年11月

SK JAPAN GROUP



株式会社 エスケイジャパン



株式会社 サンエス



株式会社 クー・ディー・システム



株式会社 サカヤマ





Top Interview 社長インタビュー

Q1.事業内容についてご説明ください。

A.当社は1989年、キャラクター商品の卸売業からスタートし、その後アミューズメント業界へ販路を拡げました。クレーンゲーム機の景品など、主にアミューズメント施設向けキャラクター商品の企画・製造・販売を行っており、ライセンスを取得し企画した商品、自社企画商品、また、企業のキャンペーン用景品や、雑誌の付録等も扱っています。子会社の3社につきましては、(株)サンエスが物販業界向け卸売部門、(株)ケー・ディー・システムは電子玩具のメーカー部門、2年前にエスケイジャパングループ入りした(株)ナカヌキヤは、西日本を中心に店舗展開をしている小売業となっております。グループ内で製造から小売まで全てを手がけるという、当業界内においては独自のスタイルで事業を展開をしております。

Q2.当中間期の業績について教えてください。

A.アミューズメント業界向け販売部門である(株)エスケイジャパンの当中間期の売上高は、3,840百万円（前年同期比107.5%）となりました。業界全体において爆発的なヒットキャラクターが少ない中、当社は前期に引き続き、バナナやソーセージなど「コスチュームキュービー」のシリーズが好調で、オリジナル商品のシェアが増えてきています。また、ローズオニールQPロディシリーズやタカアンドトシライオンのシリーズなど、新しいヒットシリーズも生まれました。(株)ナカヌキヤの店舗数も増え、より多くの情報を即座に企画にフィードバックできる体制を強化し、一つのキャラクターに特化することなく、様々なキャラクターを取り扱うことで、多様化したお客さまの好みにも対応できた成果だと考えております。今後もオリジナル商品の積極的な開発をすすめてシェア拡大に注力してまいります。SP（販売促進）部門におきましては、売上高は531百万円（前年同期比127.8%）となりました。企業の販売促進商品を扱う当部門は、全体の売上に占める割合も着実に伸ばしており、成長を続けております。両部門とも、売上をさらに伸ばしていきながら、引き続き品質管理の徹底、安心・安全な商品の提供に努めてまいります。

物販業界向け販売部門の(株)サンエスの当中間期売上高は970百万円（前年同期比98.2%）となりました。

電子玩具の企画開発・販売部門の(株)ケー・ディー・システムの当中間期売上高は160百万円（前年同期比



ギフトショー（2007/9/4～9/7 東京ビッグサイト）



JAMMAショー（2007/9/13～9/15 幕張メッセ）





130.7%)となりました。

小売部門のテナカヌキヤの当中期売上高は2,625百万円（前年同期比77.9%）となりました。採算の厳しい店舗は前期までに整理が終わっており、当期は九州に新しく2店舗をオープンしました。地域ごとのニーズに細やかに応えていけるよう、既存店も合わせ、ターゲットや品揃えなど店舗ごとに異なった、画一的でない店舗展開を進めてまいります。

Q3. エスケイジャングループの強みはなんですか？

A. エスケイジャングループはグループ内で製造から小売まで、一貫したキャラクタービジネスを展開しています。小売事業を営むことによりユーザーの嗜好やニーズを、いち早くメーカー事業や卸売事業の高品企画や仕入れに反映させることができ、グループ内での相乗効果が発揮されています。また常に自己資本比率50%以上を維持し、生産工場、物流をアウトソーシングして大きな設備投資は抑え、その分、積極的な社員採用や高品企画・販売に集中投資ができる健全な財務内容となっています。また毎年、新卒学生をインターンシップ後採用しており、キャラクタービジネスということから、女性社員の比率も高く、一方で法令遵守や商品管理体制など、経験を要する部門には60歳以上のシニア層の採用・抜擢もしております。さらに全国の4拠点（東京、名古屋、大阪、福岡）から日本全国のアミューズメント施設や小売店等をくまなく直接訪問し、素早い対応ができる、きめ細やかな営業を行っております。また高品企画部門、SP（販売促進）部門では随時経験者の中途採用も行っており、即戦力として様々な高品企画に携わっています。こうした様々な力の融合が、エスケイジャングループの強みだと思えます。

Q4. 配当について教えてください。

A. 当社は株主さまへの安定的な配当の継続に努め、中間配当6円、期末配当6円の年間配当12円を基本としております。また、業績が計画を上回った場合や、記念すべきことがあった場合などは、増配や無償分割を実施してきました。当社が阪神タイガースグッズを扱い、タイガースオフィシャルショップも展開していることから、阪神タイガースの優勝時には特別配当を実施しております。今後も企業価値の向上、株主さまへの安定的で適正な利益還元を継続していきます。

Q5. 今期の展望についてお聞かせください。

A. 今期は連結売上高15,200百万円、連結経常利益379百万円を計画しております。高品企画におきましては、魅力ある高品の開発とともに品質管理体制をさらに強化してまいります。



© 2017 LEON PLASTIC JERRY
© Rose O'Neil Kepple International





Topics

株主総会について

第18期の株主総会は2007年5月22日に本社近くのKKRホテル大阪で開催いたしました。昨年を上回る130名以上の株主様とおよそ60名の同伴者様にお越しいただき、過去最高の来場者数になりました。株主様お一人様と、ご家族やご友人など同伴者様を合わせて4名様までご来場いただけるようにし、例年どおり総会会場の隣には、懇親会の場を設けました。当社の商品を景品としたゲーム機を設置し、ナカヌキヤのキャラクターであるナカヌキくんとナカヌキちゃんの着ぐるみも登場、また昨年に引き続き川上のぼるさん・じゅんさんの親子によります腹話術ショーも行われ、みなさまに楽しんでいただくことができました。来年の株主総会はかねてより株主様のご要望が多かった、土曜日の開催を予定しております。今後も経営の透明性を重視し、開かれた株主総会を目指し、たくさんの方の株主様にお越しいただきたいと考えております。

チーム・マイナス6%に参加

当社は企業活動を通じ、地球環境保全と汚染予防の活動に取り組んでおります。昨年、国際標準化機構において制定された環境マネジメントシステムの運用規格である「ISO14001:2004」の認証を取得し、今年5月には、チーム・マイナス6%のメンバーとなりました。チーム・マイナス6%とは、京都議定書の目標である「温室効果ガス排出量6%の削減」を達成するための国民的プロジェクトで、水・電気やガソリンの使用量を減らすなど、様々な地球温暖化防止の取り組みを実践しています。

日経IRフェアに出展

2007年8月31日、9月1日に東京ビッグサイトで行われた「日経IRフェア2007」に出展いたしました。31日には代表の久保による会社説明会もあり、当社ブースには、2日間で5,000名を超す個人投資家のみなさまにお越しいただきました。当社はIR活動の重要性を認識し、四半期ごとにアナリスト向けに東京・大阪での説明会を実施しており、その他証券会社主催の個人投資家向け説明会を会社のトップ自ら行うほか、年数回のIRフェアにも積極的に出展しております。今後とも当社を一層知っていただけるよう努め、株主さまや個人投資家のみなさまとコミュニケーションをとることができるときの場を大切にしております。



日本経済新聞社主催IRフェア
(2007/8/31~9/1 東京ビッグサイト)





株式会社 ナカヌキヤ

ナカヌキヤは、「健康で明るく楽しい」あなたとのライフスタイルを創ります。ナカヌキヤ各店舗は、その地域のお客さまの声を反映し、店舗ごとに異なった個性を持っています。ご利用いただくお客さまにご満足いただき、「潤いと感動」を提供できるお店になるよう、日々進化してまいります。

ナカヌキヤが九州初進出 新店2店舗オープン

ナカヌキヤ大分店 2007年7月5日オープン

ナカヌキヤ大分店は、香水、コスメ、キャラクター商品を中心としたナカヌキヤ初の都市小型店です。新しいタイプのモデル店舗として、大型店とともに今後更にバラエティ豊かな店舗展開に繋げていきたいと考えております。



ナカヌキヤ大分店

ナカヌキヤ福岡店 2007年8月4日オープン

ナカヌキヤ福岡店は、アミューズメント施設とのコラボレーションショップとして、味ラウンドワン（東証・大証1部上場）のラウンドワンスタジアム博多・半道橋店内にオープンしました。ここは全国のラウンドワンの中で最大規模の店舗で、1階にナカヌキヤ福岡店があり、ラウンドワンのゲームコーナーには、当社のプライズ商品が多数入っております。



ナカヌキヤ福岡店

◆ナカヌキヤ店舗一覧◆

●…キティランドFC店舗 ●…阪神タイガースオフィシャルショップ

大阪府	心斎橋店	〒542-0085 大阪市中央区心斎橋筋2-6-2 心斎橋筋商店街	TEL:06-6213-1961	営業時間 11:00~22:00	●●
	JR天王寺店	〒543-0056 大阪市天王寺区恵庭町10-48 ステーションプラザてんのうし5階	TEL:06-6774-7773	営業時間 10:00~21:00	
	千里中央店	〒560-0082 豊中市新千里東町1-3 せんちゅうPAL1番街1階	TEL:06-6832-9516	営業時間 10:00~21:00	
兵庫県	伊川谷店	〒651-2129 神戸市西区白水3-2-12 白水駅交差点北500m	TEL:078-978-2082	営業時間 10:00~23:00	●
	ハーバーランド店	〒650-0044 神戸市中央区東灘町1-7-5 ハーバーランドダイヤコッセビル6階	TEL:078-367-4001	営業時間 10:00~21:00	
広島県	広島本通り店	〒730-0035 広島市中区本通4-11 本通り商店街	TEL:082-543-2831	営業時間 10:00~22:00	●●
愛媛県	松山銀天街店	〒790-0012 松山市湊町3-4-14 松山銀天街	TEL:089-987-6365	営業時間 10:00~20:00	
大分県	大分店	〒870-0035 大分市中央町2丁目5-24(セントポルタ中央町商店街)	TEL:097-534-1055	営業時間 10:00~20:00	
福岡県	福岡店	〒812-0897 福岡市博多区半道橋2-2-8(ラウンドワン博多・半道橋店1階)	TEL:092-433-3501	営業時間 10:00~27:00	





Consolidated Financial Statements 連結財務諸表

○連結貸借対照表

(単位: 百万円)

科目	期別	前中間期 (2007年 8月31日現在)	当中間期 (2007年 8月31日現在)	前 期 (2007年 2月28日現在)
(資産の部)				
流動資産		3,589	3,731	3,330
現金及び預金		772	1,017	553
受取手形及び売掛金		1,472	1,555	1,424
棚卸資産		1,093	978	1,093
その他の資産		253	185	264
貸倒引当金	△	3	4	4
固定資産		1,673	1,920	1,893
有形固定資産		616	623	624
建物及び構築物		278	287	293
土地		278	278	278
その他の固定資産		59	58	52
無形固定資産		8	7	8
投資その他の資産		1,248	1,188	1,260
投資有価証券		256	205	276
その他の資産		994	987	988
貸倒引当金	△	1	4	4
資産合計		5,462	5,551	5,224
(負債の部)				
流動負債		2,367	2,343	1,942
支払手形及び買掛金		1,462	1,564	1,048
短期借入金		268	310	352
その他の負債		616	409	541
固定負債		95	101	96
繰上り保証金		25	25	25
退職給付引当金		70	71	71
その他の負債		-	4	-
負債合計		2,463	2,444	2,038
(純資産の部)				
株主資本		2,991	3,099	3,175
資本金		426	440	436
資本剰余金		457	471	467
利益剰余金		2,116	2,196	2,280
自己株式	△	8	9	9
評価・換算差額等		6	2	7
その他有価証券評価差額金		6	2	7
新株予約権		1	5	3
純資産合計		2,999	3,107	3,185
負債純資産合計		5,462	5,551	5,224

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

○中間連結株主資本等変動計算書 (2007年3月1日から2007年8月31日まで)

(単位: 百万円)

	株主資本					評価・換算差額等		新株予約権	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等合計		
2007年2月28日 株主資本等変動計算書開始時の数値	436	467	2,280	△ 9	3,175	7	7	3	3,185
中間連結会計期間中の変動額	4	4	△ 66	△ 17	8	△ 66		△ 17	8
新株発行の対価			△ 17		△ 17			△ 17	△ 17
剰余金の配当					△ 0			△ 0	△ 0
中間純損失				△ 0	△ 0			△ 0	△ 0
自己株式の取得				△ 0	△ 0			△ 0	△ 0
新株予約権の行使					△ 0			△ 0	△ 0
その他の変動					△ 0			△ 0	△ 0
2007年3月1日 株主資本等変動計算書開始時の数値	4	4	△ 84	△ 0	75	△ 5	△ 5	2	78
中間連結会計期間中の変動額	4	4	△ 84	△ 0	75	△ 5	△ 5	2	78
2007年8月31日 株主資本等変動計算書終了時の数値	440	471	2,196	△ 9	3,099	2	2	5	3,107

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

○連結損益計算書

(単位: 百万円)

科目	期別	前中間期 (2007年 8月31日現在)	当中間期 (2007年 8月31日現在)	前 期 (2007年 2月28日現在)
売上高		7,886	7,423	15,861
売上原価		5,927	5,578	11,879
売上総利益		1,958	1,844	3,981
販売費及び一般管理費		1,709	1,692	3,379
営業利益		248	152	602
営業外収益		20	18	32
営業外費用		8	13	22
経常利益		260	157	612
特別利益		5	36	46
特別損失		-	103	0
税引前中間(当期)純利益		266	89	657
法人税、住民税及び事業税		117	119	256
法人税等調整額		6	△ 11	44
中間(当期)純利益(△純損失)		142	△ 17	356

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

○中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 百万円)

科目	期別	前中間期 (2007年 8月31日現在)	当中間期 (2007年 8月31日現在)
営業活動によるキャッシュ・フロー		△ 62	581
投資活動によるキャッシュ・フロー	△	167	△ 16
財務活動によるキャッシュ・フロー	△	18	△ 100
現金及び現金同等物に係る換算差額		-	-
現金及び現金同等物の増減額	△	123	463
現金及び現金同等物の期首残高		895	553
現金及び現金同等物の中間期末残高		772	1,017

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。



Non-Consolidated Financial Statements 単体財務諸表



○貸借対照表

(単位:百万円)

科目	期別	前中間期 (2007年8月31日現在)	当中間期 (2007年8月31日現在)	前期 (2007年2月28日現在)
(資産の部)				
流動資産		1,820	2,088	1,717
現金及び預金		548	705	429
受取手形及び売掛金		1,073	1,124	1,025
短期貸付		219	181	196
その他の流動資産		81	78	69
貸倒引当金	△	0	1	2
固定資産		2,325	2,222	2,312
有形固定資産		504	486	494
建物及び構築物		207	196	201
土地		278	278	278
その他の固定資産		18	11	13
無形固定資産		5	5	5
投資その他の資産		1,815	1,729	1,812
投資有価証券		256	205	276
その他の投資有価証券		1,683	1,671	1,668
貸倒引当金	△	123	147	132
資産合計		4,246	4,310	4,030
(負債の部)				
流動負債		1,293	1,187	919
借入金		817	839	519
短期借入金		198	70	62
その他の短期借入金		277	277	338
固定負債		70	70	71
退職給付引当金		70	70	71
負債合計		1,363	1,257	990
(純資産の部)				
株主資本		2,874	3,044	3,029
資本金		426	440	436
資本剰余金		457	471	467
利益剰余金		1,999	2,141	2,134
自己株式	△	8	9	9
評価・換算差額等		6	2	7
その他の有価証券評価差額金		6	2	7
新株予約権		1	5	3
純資産合計		2,882	3,052	3,039
負債純資産合計		4,246	4,310	4,030

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

○損益計算書

(単位:百万円)

科目	期別	前中間期 (2007年8月31日現在)	当中間期 (2007年8月31日現在)	前期 (2007年2月28日現在)
売上高		3,571	3,840	7,492
売上原価		2,624	2,654	5,501
売上総利益		947	986	1,990
販売費及び一般管理費		720	756	1,456
営業利益		227	230	534
営業外収益		25	18	45
営業外費用		5	11	15
経常利益		247	237	564
特別利益		0	36	0
特別損失		-	122	0
税引前中間(当期)純利益		247	150	564
法人税、住民税及び事業税		111	115	249
法人税等調整額		3	38	0
中間(当期)純利益		131	73	316

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。



○中間株主資本等変動計算書 (2007年3月1日から2007年8月31日まで)

(単位:百万円)

	株主資本				株主資本合計	評価・換算差額等		新株予約権	純資産合計	
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式		その他の有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等合計			
2007年2月28日残高	436	467	2,134	△	9	3,029	7	7	3	3,039
中間会計期間中の変動額										
新株の発行	4	4	-		8					8
剰余金の配当			△	86	△	86				△
中間純利益			73		73					73
自己株式の取得				△	0	△				△
新株予約権の行使							△	5	△	5
中間会計期間中の変動額合計	4	4	7	△	0	15	△	5	△	5
2007年8月31日残高	440	471	2,141	△	9	3,044	2	2	5	3,052

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。



Corporate Profile 会社の概要 (2007年 8月31日現在)

○会社概要

商号 株式会社エスケイジャパン
 英文社名 SK JAPAN CO.,LTD.
 設立 1989年12月14日
 大阪本社 〒540-0005 大阪市中央区上町1-3-10 エスケイビル
 東京本社 〒111-0051 東京都台東区蔵前4-33-7 エスケイビル
 名古屋営業所 〒453-0041 名古屋市中村区本陣通2-32 HIKARIビル
 福岡営業所 〒812-0041 福岡市博多区吉塚2-16-11 エスケイビル
 資本金 440,948,911円
 従業員数 106名

(グループ合計270名 平均年齢32.5才)
 事業内容 キャラクターのぬいぐるみ、キーホルダー、家庭雑貨、携帯電話アクセサリグッズ、プライズ商品等の企画・製造・販売

主要取引先 株式会社アスモ、株式会社アスリートワン、株式会社アトラス、アドアーズ㈱、株式会社アプレシオ、株式会社アミバラ、株式会社アミューズメントタカ、株式会社ムリード、株式会社アリサカ、株式会社イオンファンタジー、エイトレジャー物産㈱、株式会社エスオーシステム、株式会社エッグボックス、株式会社カプコン、株式会社共和コーポレーション、株式会社ケイ・キャット、株式会社ゲオサプライ、コナミ㈱、株式会社コミュニケーション・ワークス、株式会社コナ、株式会社ザ・サードプラネット、株式会社サンファンタジー、株式会社シチエ、株式会社小字部、株式会社ガイ・エンタテインメント、株式会社ソニー、大長商事㈱、株式会社タイター、テクノウェーブ㈱、株式会社豊園、株式会社トムス・エンタテインメント、株式会社ドラマ、ドリームインフィニティ㈱、株式会社永谷園、株式会社ナムコ、株式会社ハーマン、原電気㈱、株式会社ハローズ、株式会社バンプレスト、株式会社ファンフィールド、プレビ㈱、株式会社プロボックス、北東商事㈱、株式会社タハリ、株式会社マルハン、森永乳業㈱、株式会社焼津ミッツ、株式会社山崎屋、株式会社ユーイング、ユーズ㈱、株式会社UCO、株式会社ラウンドワン、株式会社ワイ・ケーコーポレーション、株式会社ワイドレジャー

主要取引銀行 株式会社みずほ銀行 株式会社三菱東京UFJ銀行
 株式会社三井住友銀行 三菱UFJ信託銀行株式会社
 住友信託銀行株式会社 株式会社十八銀行

役員 代表取締役社長 久保 敏 志
 常務取締役(商品担当) 八百 博 徳
 取締役(営業担当) 中 村 英 記
 取締役(管理担当) 川 上 優 記
 監査役 西 田 昌 弘
 監査役 菅 生 新

○子会社の概要

商号 株式会社サンエス
 英文社名 SAN-S CO.,LTD.
 設立 1993年9月9日
 代表者 代表取締役社長 久保 敏志
 事業内容 キーホルダー、携帯電話関連グッズ等のキャラクターグッズの物販業界向け卸販売
 資本金 10,000,000円
 主要取引先

イオン㈱、株式会社イズミ、株式会社ITS DEMO、株式会社グレイッシュヴァンガードコーポレーション、株式会社オリンピア、株式会社イランド、株式会社貞屋ブルドッグ、株式会社エアール九州リーテイル㈱、株式会社しまむら、田中商事㈱、株式会社東急ハンズ、株式会社ドン・キホーテ、日本トイザらス㈱、株式会社博品館、株式会社スポーツ、株式会社平和堂、株式会社プラススタイル㈱、株式会社ビーベース・イエローサブマリン、株式会社マイカム、株式会社リテイルネットワークス、株式会社ロフト

株式会社ケー・ディー・システム
 英文社名 KD.SYSTEM CO.,LTD.
 設立 2002年11月25日
 代表者 代表取締役社長 久保 敏志
 事業内容 電子玩具・電子機器の企画開発・販売
 資本金 40,000,000円
 主要取引先

株式会社エスシー、株式会社エトワール海運、株式会社オーム電機、株式会社河田、株式会社ジュンプランニング、SHO-BI Corporation㈱、株式会社中越自動車用品㈱、株式会社ツジセル、寺内㈱、株式会社ハセ・プロ、株式会社ビックスター、株式会社藤本サービス、株式会社マリモクラフト、三菱文具㈱、株式会社ラスタバナナ、株式会社ラナ

株式会社ナカヌキヤ
 英文社名 NAKANUKIYA CO.,LTD.
 設立 2005年5月20日
 代表者 代表取締役社長 久保 敏志
 事業内容 キャラクターグッズ、家電商品、生活雑貨、コスメ、インポートブランド商品等の販売
 資本金 30,000,000円
 主要取引先

株式会社ウエニ貿易、カシオ計算機㈱、小泉成器㈱、資生堂販売㈱、シャープエレクトロニクスマーケティング㈱、株式会社スクエア・エニックス、株式会社セガ、ソニーマーケティング㈱、株式会社ドウシシャ、パナソニックコンシューマーマーケティング㈱、株式会社バルタック、株式会社阪神タイガース、日立コンシューマ・マーケティング㈱、株式会社三菱電機ライフネットワーク、株式会社メイクアップ

○監査法人

監査法人トーマツ (業務執行社員が執務する事務所)
 〒530-0005 大阪市北区中之島2-2-7 中之島セントラルタワー

Stock Information 株式情報 (2007年8月31日現在)



○株式の状況

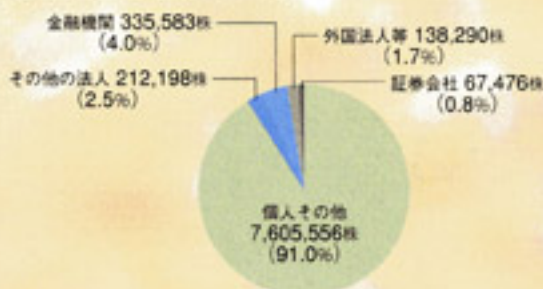
発行可能株式総数	12,381,000株
発行済株式の総数	8,359,103株
株主数	3,325名
証券コード	7608

○大株主

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
久保敏志	3,740,436	44.7
鈴木康友	181,400	2.2
八百博徳	142,743	1.7
澤田禎夫	126,363	1.5
巽一久	122,400	1.5
田中美靖	100,000	1.2
中村英記	82,221	1.0
イーエフジーバンク	81,607	1.0
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	72,300	0.9
久保三則	71,040	0.8
エスケイジャパン従業員持株会	57,254	0.7
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	52,100	0.6
久保泰子	47,736	0.6
高橋恒夫	47,700	0.6
長村泰	43,442	0.5
野嶋伸一	43,324	0.5

○株式分布状況

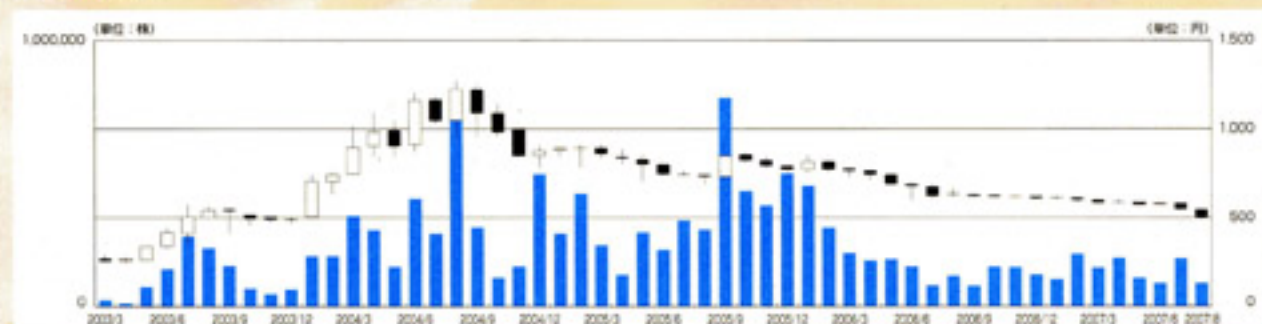
【所有者別株式数分布状況】



【地域別株主数分布状況】



○株価の推移



※当社は2003年11月20日付で1株につき1.2株の分割を、2004年5月20日付で1株につき1.3株の分割を、2004年11月19日付で1株につき1.1株の分割を実施したため、株価の調整を行っております。



株主メモ

事業年度	3月1日から翌年2月末日まで
定時株主総会	毎年 5月
(定時)株主総会の基準日	毎年 2月末日 その他必要があるときは予め公告をして定めます。
剰余金の配当の基準日	期末 毎年 2月 末日 中間 毎年 8月31日
株主名簿管理人	〒100-8212 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所 (お問い合わせ先)	〒530-0004 大阪市北区堂島浜一丁目1番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 ☎ 0120(094)777
同 取 次 所	三菱UFJ信託銀行株式会社 全国本支店 野村證券株式会社 全国本支店 ○株式関係のお手続き用紙のご請求は、次の三菱UFJ信託銀行の電話およびインターネットでも24時間承っております。 ☎ 0120(244)479 (本店証券代行部) ☎ 0120(684)479 (大阪証券代行部) ☎ http://www.tr.mufg.jp/daikou/

公告方法	電子公告
証券コード	7608
単元株式数	100株
上場証券取引所	株式会社東京証券取引所市場第一部 株式会社大阪証券取引所市場第一部

配当金はお早めにお受け取りください。

今回お届けした中間配当金領収証による配当金のお受け取り期間は2007年12月28日(金)までとなっております。中間配当金領収証をお持ちになって、お近くのゆうちょ銀行ならびに郵便局(銀行代理業者)でお早めにお受け取りください。

もしお受け取り期間を過ぎたら…

お受け取り期間を過ぎますと、ゆうちょ銀行ならびに郵便局(銀行代理業者)でのお受け取りができなくなります。中間配当金領収証の裏面に、お受け取り方法をご指定のうえ、三菱UFJ信託銀行大阪証券代行部までご郵送ください。

中間配当金領収証を紛失された場合は…

三菱UFJ信託銀行大阪証券代行部までご連絡ください。なお、支払の確認と再発行の手続きのため、お支払まで多少日数を必要としますので、予めご了承ください。



株式会社 エスケイジャパン

(証券コード：7608)

お問い合わせ先

〒540-0005 大阪市中央区上町一丁目3番10号 エスケイビル
株式会社エスケイジャパン 経営企画室IR担当：野崎 伸一
TEL：06(6765)1355(直通) FAX：06(6765)0880
E-MAIL：ir@sk-japan.co.jp (IR専用)

ホームページもご覧ください。

<http://www.sk-japan.co.jp>

IR情報や財務状況、また社員日記など当社の情報を掲載しております。是非当社ホームページにアクセスしてください。



みんなで止めよう温暖化

©エスケイジャパン ホーム・マイナス6℃



全国1000以上の店舗で販売されています

環境にやさしい大豆インクで印刷されています